

軽井沢で 出会った 人々 vol.4

（軽井沢新聞編集長）
広川小夜子

岸田今日子さん（女優・エッセイスト）

1984年、岸田今日子さんは舞台にテレビに映画にと大活躍する個性派女優だった。この年はNHK朝のテレビ小説「ロマンス」に出演し多忙を極めていたが、快くインタビューに応じていただいた。

「毎年、夏は北軽井沢の大学村へ行って

います。今年も夏休みをもらって2、3週間は行く予定なの」父の岸田國士さん（劇作家）は大学村の創立メンバーの一人。「父はヨーロッパの田園生活に憧れています。その頃の別荘は茅ぶき屋根でオランダ風の農家みたいなのがたった。小学校に入る前から、夏は早くから訪れてやぎを飼ったり、お乳を搾ってバターやチーズを作ろうとしたり、いろいろなことをしました。桃の木をたくさん植えて、みんなで袋をかぶせたり…」今日子さんにとって、大学村は楽しい思い出がいっぱいの大好きなふるさと。子供たちが集まって勉強する「おさらい学校」や村の運動会の話など、懐かしそうに語る今日子さんはとても嬉しそうだった。よく利用していた草軽電鉄は「ゆっくり走る電車で、途中、きれいな花があった

ら、降りて摘んでまた乗れるほど。見送つたり見送られたりした思い出もいっぱいあります」大学村の自然や家族との暮らし、友達との思い出が今日子さんの中ですっと輝いていた。

この頃の軽井沢は急激に観光の波が押し寄せ、だいぶ昔とは変わってきていた。「周りにお店も増えて、変わってほしくないと思うこともあるけれど、そこで楽しんでいる人たちも増えているわけで、それをいけないって言うことはできないと思うのね。ある淘汰みたいなのはいつかきっとあって、それなりの雰囲気ができるいくんじやないかしら」と話す今日子さんは、優しく時の流れを見守っているようだった。

1986年、軽井沢避暑地100周年記念の年に旧軽銀座のサムタイムハウスで一緒に

にトークイベントを行った。朗読する今日子さんの独特な声が今も思い出される。



右:岸田今日子さん 左:筆者（100周年記念イベント）

きしだ・きょうこ（1930～2006年）東京都生まれ。女優、エッセイスト。姉は岸田衿子（詩人・童話作家）。舞台、映画、テレビで幅広く活躍。声優としてはムーミンの声が有名。テアトロン賞やブルーリボン賞助演女優賞などを受賞。著書「妄想の森」で日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。隨筆、童話など著書多数。1994年紫綬褒章受章。

2020年新設幼小中一貫校

研修・研究機関の併設も

風越に幼小中一貫校設立を目指す一般財団法人軽井沢風越学園設立準備財団が2月22日、東京・渋谷区でメディア向け説明会を開催した。理事長で楽天元副社長・本城慎之介さんと副理事長の東京学芸大学大学院

准教授・岩瀬直樹さん、理事の熊本大学准教授・苦野一徳さんの3名が学校像やカリキュラムを示した。

この日の説明会では、従来の固定的な学年ごとではなく異年齢学級を検討していることや、教育に関する研修・研究機関を併設する



2月22日、都内で行われた説明会。左から苦野さん、本城さん、岩瀬さん。

部活動としてスポーツ・ユニーク・軽井沢クラブや町内の合唱団などと連携するアイデアも披露された。生徒募集の対象はあくまで軽井沢周辺の市町村で、県外者のための寮の建設などは予定されていない。この夏から小学生対象のサマ

校の理念などを知つてもういう。理事長の本城さんは「地域に根差す地元の学校にしたいので風越学園という名のふるさと納税などを利用して奨学金制度なども考えていきた」と話した。

2018年に認可申請を行った、20年の開校を目指していきました。開校後は軽井沢のふるさと納税などを利用して奨学金制度などを考えたい」と「私立幼稚園が3園となり、存続のための特色あり園づくりが急務」。また、開校後は「町内7小中高連携協定を結び、協力体制を整えたい。公立・私立の壁を乗り越え、教育の充実に務めていくことが大切」と考

軽井沢町の見解は？

軽井沢町が2月28日、「軽井沢風越学園」について、町議会3月会議一般質問で見解を述べた。寺田和佳子町議の質問に、藤巻進町長、萩原勝教育長が答えた。

町長は「ISAK（軽井沢の私立の全寮制国際高校）との交流を通して、軽井沢の子どもたちは多くを吸収している。風越学園とも交流を通じ、よりよい部分を吸収できると考へる。（学園設立を）追い風にしていきたい」と語った。

NEXT HIT !

デザイン新 旧三笠ホテル、オリジナルグッズ

国の重要文化財・旧三笠ホテルで販売している、オリジナルのマグカップと日本手ぬぐいの、色とデザインが新しくなった。マグカップは青とオレンジで、三笠のロゴマークに市松模様をあしらっている。手ぬぐいはピンクと紺。毎年デザインと色を変えて発売しているが、濃い色の組み合わせは初めてだそう。軽井沢を訪れた記念に購入していく外国人観光客が多いことから、和風柄にこだわった。「日本手ぬぐいは毎回少しずつデザインが変わっ



ています。ぜひ手にとって見てください」と担当者。新しい手ぬぐいは4月1日から販売する。

国重要文化財・旧三笠ホテル

軽井沢町大字軽井沢 1339-342
9:00～17:00（入館 16:30まで）
TEL.0267-42-7072 年末年始休館

A

NEXT HIT !

数量限定販売 マグマ入り？浅間山チョコ

山を型どったホワイトチョコの中に、マグマに見立てた苺ソースジュレが入った「浅間火山チョコレート」。老舗の菓子工房、白樺堂の新商品。一口サイズで薄いチョコは口どけなめらかで、苺ソースの甘酸っぱさとの相性もいい。販売は限定3000箱。今後の製造予定もないため、今しか買えない一品。浅間山と苺のパッケージで、1箱15枚入り800円（税抜き）。「白いチョコからマグマをイメージした苺ソースが透けて見えると

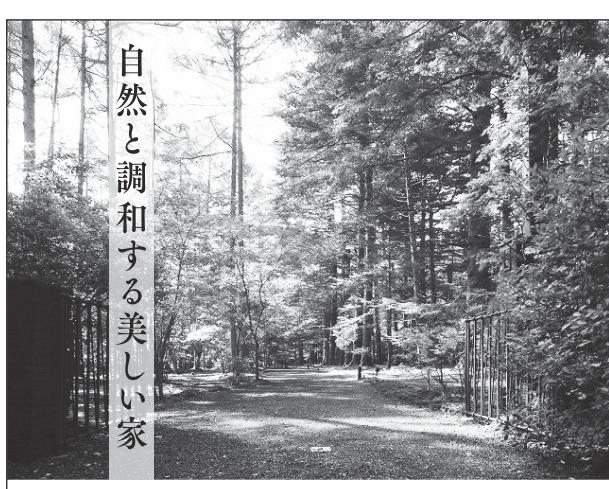


ころや、パッケージにもこだわりました」と、副社長の小林さん。

白樺堂 駅前通り店

軽井沢町軽井沢東 16-7 TEL.0267-42-2305
白樺堂直営店 5店舗と東急ハーヴェスト売店などで販売。

B



SHINKENCHIKU

株式会社 新建築

〒389-0104 軽井沢町軽井沢東 29-5 TEL.0267-42-7777 www.shinkenchiku.jp



レンズの詳細は
こちら


お店
Facebook


中軽井沢6-5 駅徒歩3分
営 10-19時 火曜定休

精密レンズで快適な 視界をお届けします

ZEISS precision lenses

// INNOVATION
MADE BY ZEISS

長野県最大のメガネ店、佐久地域で唯一の認定補聴器専門店



ZEISSは、顕微鏡をはじめ、カメラレンズや医療機器、プラネタリウムなど、ミクロから宇宙までの様々な分野で重要な役割を果たしてきました。長年培われてきた高度な知識と製造技術を活かし、より精密で高精度なレンズをご提供いたします。

www.zeiss.co.jp/vision